

『人文学学際研究』投稿規定

(2026年5月29日 改訂)

1. 執筆資格者は、原則として大阪公立大学人文学学際研究センター（HIRC）研究員、同大学大学院文学研究科の専任教員、名誉教授、特任教員ならびに非常勤講師とする。なお、指導教員の推薦を受けた文学研究科大学院生の執筆を受け付けることがある。共著の場合は、筆頭著者が上記執筆資格者であること。また、上記執筆資格者以外の執筆は、人文学学際研究センターでの研究活動、研究プロジェクトに関わる成果としての投稿に対して、別途認めることがある。
※ 同一著者による同号、同ジャンルへの筆頭著者としての複数の投稿は原則として認めない。
2. 投稿原稿は、学術に関する未公開の研究論文、研究ノート、研究資料、企画（シンポジウム、特集等）、特別寄稿、翻訳、研究展望、書評、学会レポート、海外レポートとする。なお、企画原稿については、あらかじめ編集委員会に内容・体裁・分量を相談すること。
3. 執筆希望者は、名前（フリガナ）・所属・投稿ジャンル・執筆言語・タイトル・査読者候補（論文および研究ノートのみ）を記入したエントリーシートを別途定める期日までに『人文学学際研究』編集委員会宛（gr-lit-hirc@omu.ac.jp）にメールで送付する。大学院生が執筆を希望する場合は、指導教員と相談の上で申し込むこと。
4. 原稿（本文・註）は日本語・英語・中国語のいずれかとする。これ以外の言語で執筆を希望する場合は、エントリー時に編集委員会に相談すること。
5. 原稿の分量は以下の通りとする。分量を超過している場合は、投稿を受け付けない場合がある。
 - (1)研究論文・研究ノート・研究資料・特別寄稿：
本文・要旨・註・図表等を含めて、本誌の体裁で15頁以内。
 - ①日本語の場合は、和文タイトル・英文タイトル、和文要旨・英文要旨、和文キーワード（5語）・英文キーワード（5語）をつける。和文要旨は600～800字程度、英文要旨は300～400語程度とする。
 - ②英語の場合は、英文タイトル・和文タイトル、英文要旨・和文要旨、英文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。英文要旨は300～400語程度、和文要旨は600～800字程度とする。
 - ③中国語の場合は、中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル、中文要旨・和文要旨、中文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。中文要旨は300～400字程度、和文要旨は600～800字程度とする。
 - (2)研究展望：本文・註・図表等を含めて、本誌の体裁で6頁以内。
 - (3)書評・学会レポート・海外レポート：本文・註・図表等をふくめて、本誌の体裁で3頁以内。
 - (4)翻訳：本文・註・図表等を含めて、本誌の体裁で15頁以内。これを超過しそうな場合は、編集委員会と事前に相談すること。本文とは別に、和文解題（600～800字）を添付すること。
 - (5)企画：内容・体裁とともに、編集委員会と事前に相談すること。
6. 執筆者は、ウェブサイトに掲載されている「執筆要項」および「執筆用テンプレート」にしたがって完成原稿を作成し、別途定める締切日までに『人文学学際研究』編集委員会（gr-lit-hirc@omu.ac.jp）に提出する。大学院生のみによる執筆の場合、単著共著問わず筆頭著者の指導教員の推薦状を添えなければならない。なお、HIRC研究員および大学院生の単独執筆の場合は受入教員・指導教員による点検、第一言語以外による執筆原稿についてはネイティブチェックや文学研究科提供のプルーフリーディング等、第三者の校閲を原稿提出前に受けることを推奨する。
7. 論文および研究ノートの投稿にあたっては、エントリー時に査読候補者を3名挙げる。その際、所属・職

階・氏名・連絡先（メールアドレス等）の情報も記載する（査読候補者に査読を依頼するかどうかは編集委員会が判断する）。

8. 投稿された原稿については、編集委員および編集委員から付託をうけた者が査読をおこなう。その結果、書き直しを求めること、不採用となることがある。
9. 校正段階で大幅に加筆、修正することは認めない。誤字訂正、印刷上のミスの訂正にとどめる。
10. 採用された論文等は、人文学学際研究センターが電子ジャーナル形式で刊行し、大阪公立大学の機関リポジトリで公開する。